

第五次総合計画推進のための
市民アンケート調査結果
報 告 書

令和 4 年 9 月

目 次

第1章 基本集計結果

I 調査概要	1
II 属性に関する結果概要	1
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	4
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	8
V 施策ごとのアンケート指標現状値の主な傾向	11
VI 長野市の住みやすさについて	74
VII スポーツや運動の実施について	75
VIII 社会参加について	76
IX SDGsについて	80

第2章 男女別・年齢別人口割合による再集計結果（補正值）

I 補正值の算出方法	81
II 補正值による回答者属性	82
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	85
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	89
V 単純集計と補正值の差異	92
VI 施策別補正值によるクロス集計結果	94

第1章 基本集計結果

I 調査概要

1 調査期間

令和4年6月8日（水）～6月22日（水）

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女6,000人

3 標本の抽出

住民基本台帳（令和4年6月1日現在）から無作為抽出

4 調査方法

返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

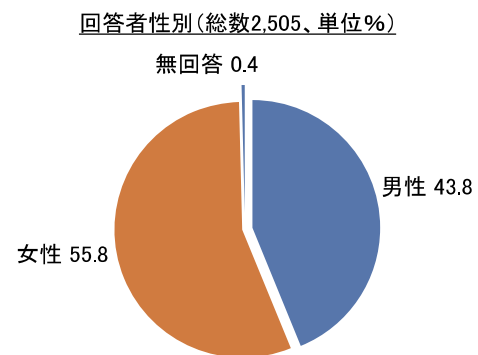
回収標本数 2,505 票

回収率 41.8%

II 属性に関する結果概要

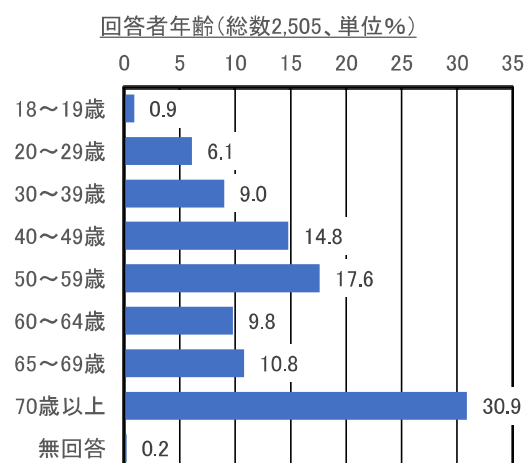
1 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	1,097	43.8
女性	1,398	55.8
無回答	10	0.4
合計	2,505	100.0



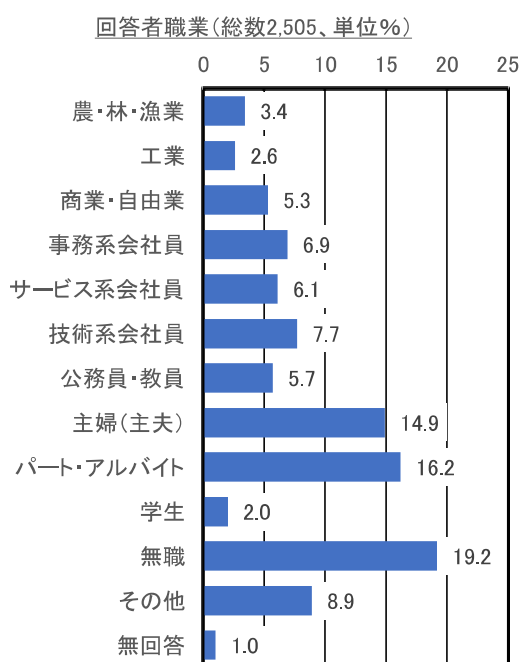
2 年齢構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	23	0.9
20～29歳	152	6.1
30～39歳	226	9.0
40～49歳	370	14.8
50～59歳	440	17.6
60～64歳	245	9.8
65～69歳	270	10.8
70歳以上	775	30.9
無回答	4	0.2
合計	2,505	100.0



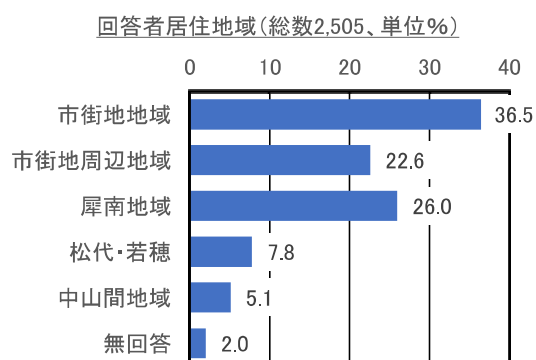
3 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	86	3.4
工業	64	2.6
商業・自由業	134	5.3
事務系会社員	174	6.9
サービス系会社員	154	6.1
技術系会社員	193	7.7
公務員・教員	142	5.7
主婦(主夫)	373	14.9
パート・アルバイト	406	16.2
学生	50	2.0
無職	482	19.2
その他	222	8.9
無回答	25	1.0
合計	2,505	100.0



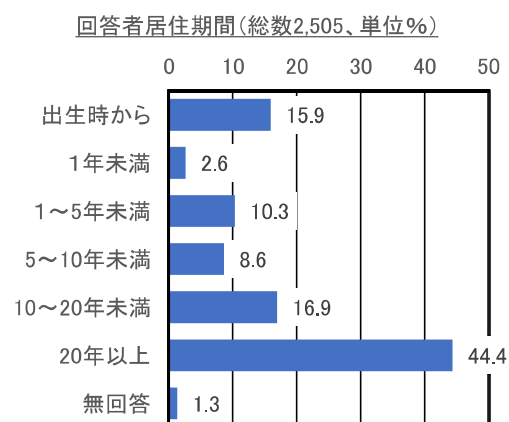
4 お住まい

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	915	36.5
市街地周辺地域	565	22.6
犀南地域	651	26.0
松代・若穂	195	7.8
中山間地域	128	5.1
無回答	51	2.0
合計	2,505	100.0



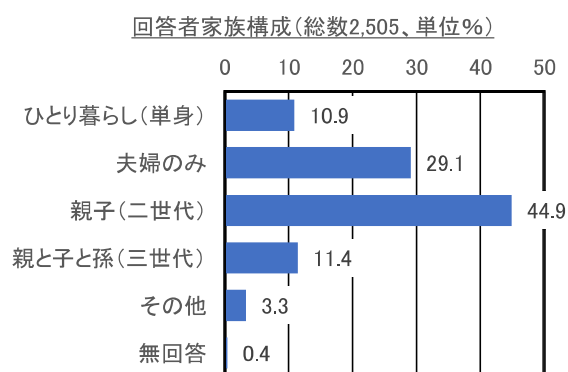
5 住んでいる期間

選択肢	回答数(人)	割合(%)
出生時から	398	15.9
1年未満	64	2.6
1～5年未満	259	10.3
5～10年未満	216	8.6
10～20年未満	424	16.9
20年以上	1,111	44.4
無回答	33	1.3
合計	2,505	100.0



6 家族構成

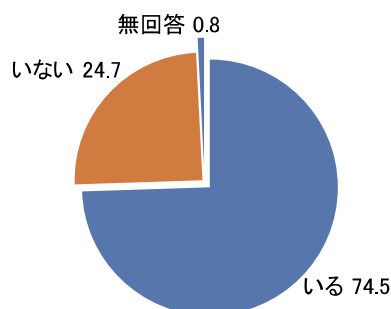
選択肢	回答数(人)	割合(%)
ひとり暮らし(単身)	272	10.9
夫婦のみ	729	29.1
親子(二世代)	1,124	44.9
親と子と孫(三世代)	286	11.4
その他	83	3.3
無回答	11	0.4
合計	2,505	100.0



7 お子さんの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	1,866	74.5
いない	618	24.7
無回答	21	0.8
合計	2,505	100.0

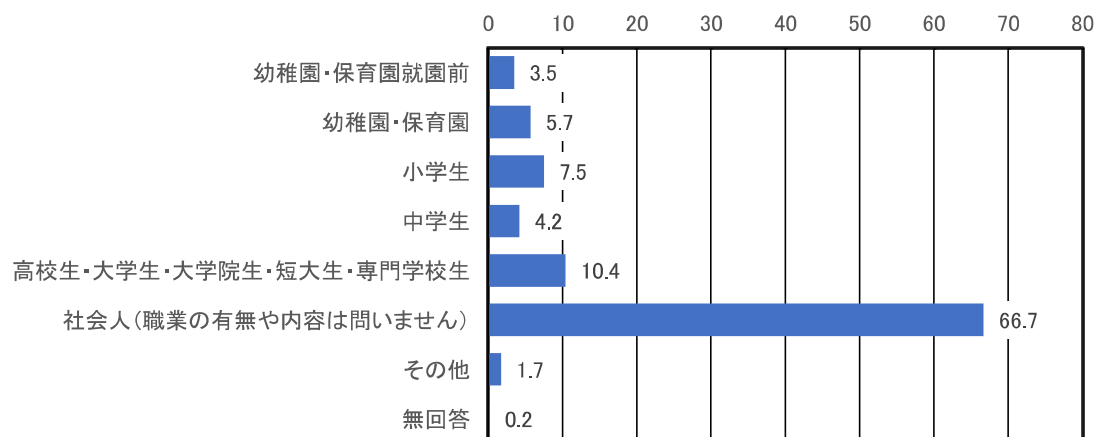
お子さんの有無(総数2,505、単位%)



8 お子さんの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	66	3.5
幼稚園・保育園	107	5.7
小学生	140	7.5
中学生	79	4.2
高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生	194	10.4
社会人(職業の有無や内容は問いません)	1,245	66.7
その他	32	1.7
無回答	3	0.2
合計(%ベース)	1,866	100.0

お子さんの状況(総数1,866、単位%)



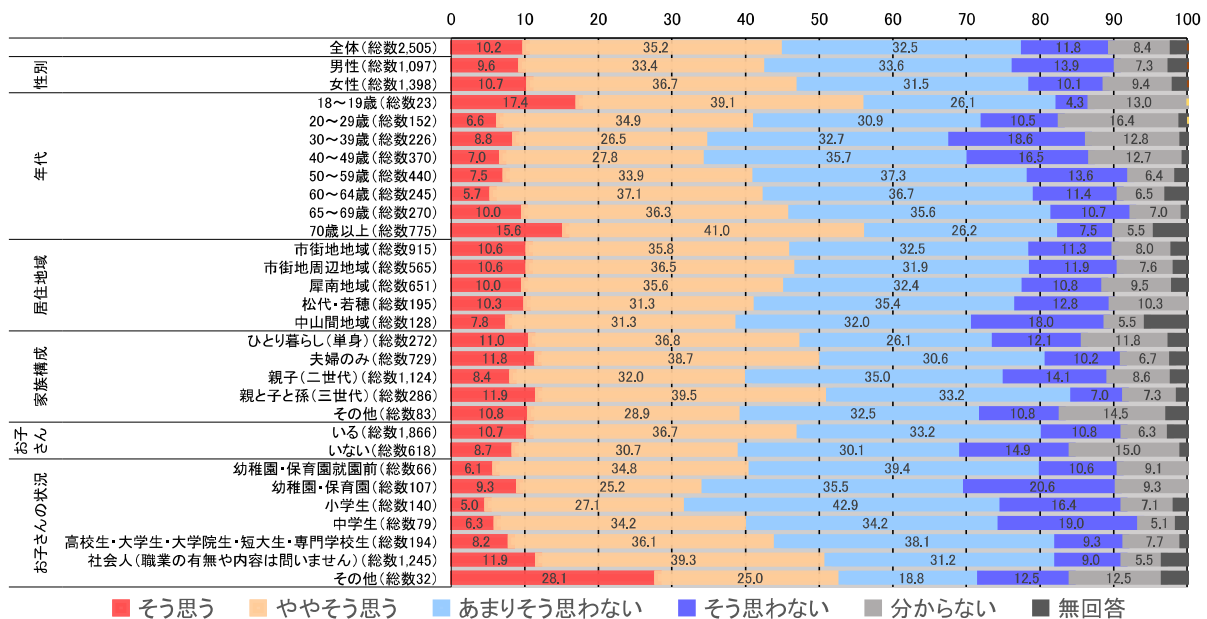
〔施策3-1-2 循環型社会の実現〕

市の地域づくりや体制に関する質問：45.4%	47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
回答者自身の実践状況に関する質問：88.2%	30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
：77.5%	31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
：94.9%	32 ごみの分別を徹底している

○環境・体制の評価では、肯定的評価は「70歳以上」が約57%で最も高く、次いで「18～19歳」「親と子と孫（三世代）」などとなっている。

●市の地域づくりや体制に関する質問の属性別結果

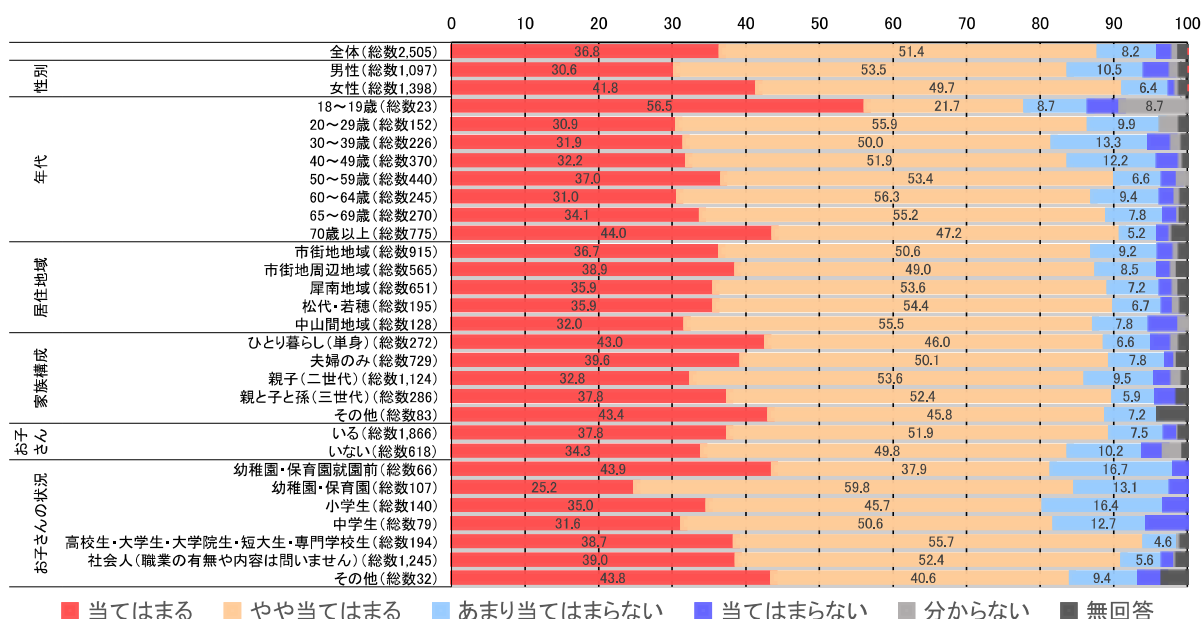
〔47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている〕



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生」が約94%で最も高く、次いで「女性」「社会人」などとなっている。全体的に肯定的評価は高く、ほとんどの属性で80%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

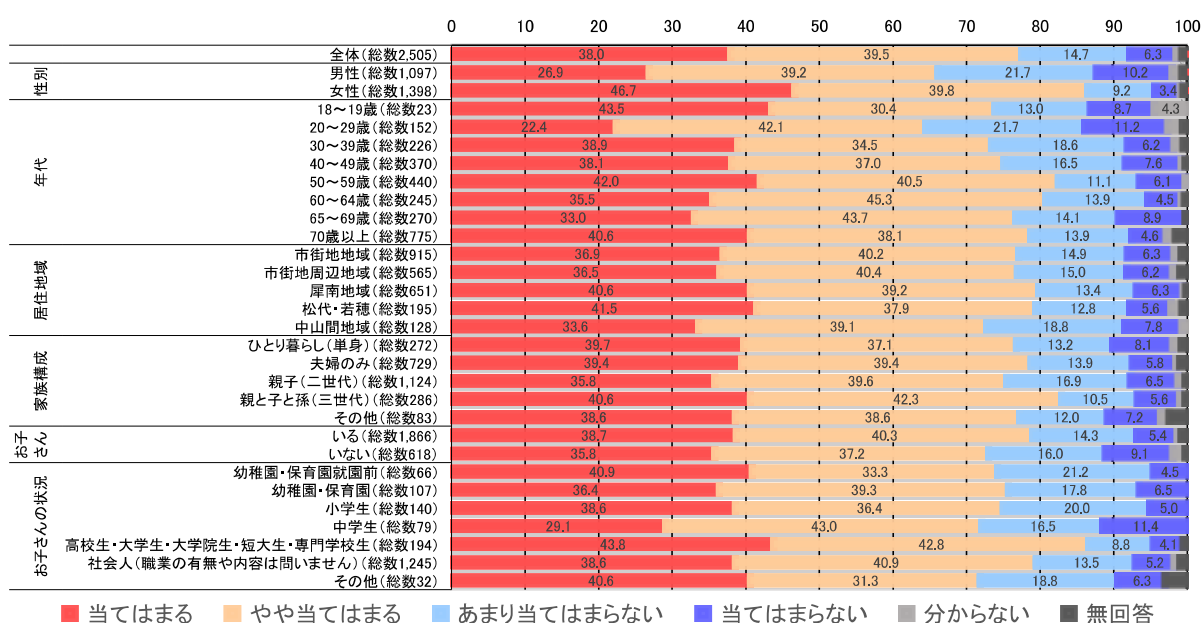
[30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生」が約87%で最も高く、次いで「女性」「親と子と孫(三世帯)」などとなっている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

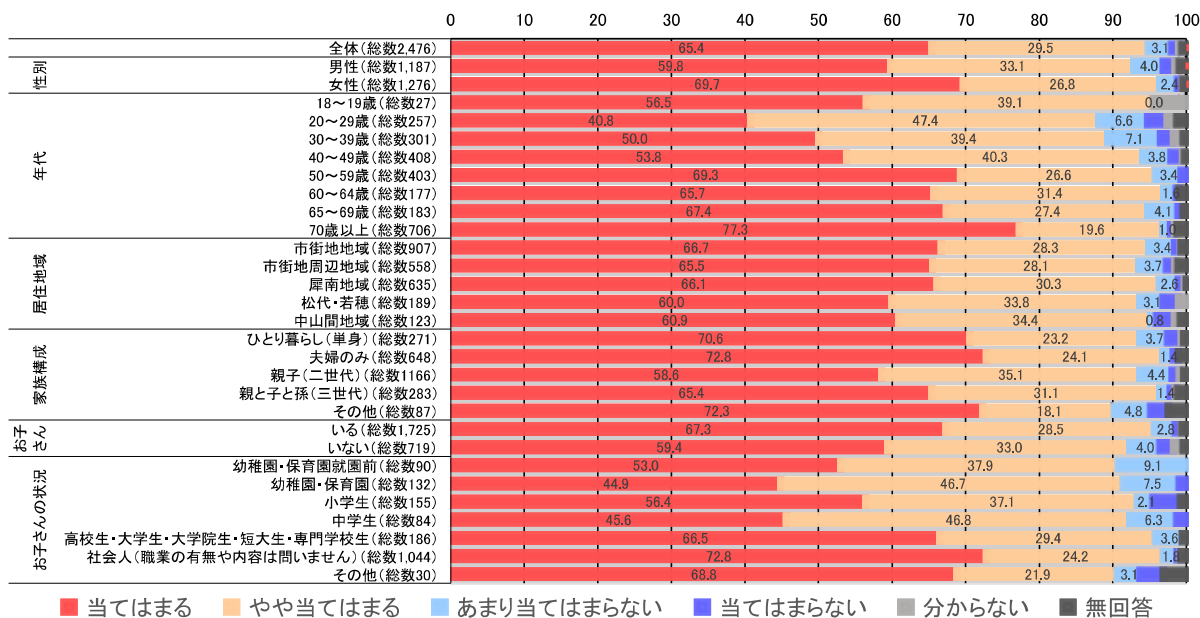
[31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「60～64 歳」が約 97%で最も高く、次いで「社会人」「夫婦のみ」「70 歳以上」などとなっている。全体として肯定的評価はほとんどの属性で 90%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

[32 ごみの分別を徹底している]



第五次総合計画推進のための
市民アンケート調査結果
報 告 書

令和6年3月

目 次

第1章 基本集計結果

I 調査概要	1
II 属性に関する結果概要	1
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	4
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	8
V 施策ごとのアンケート指標現状値の主な傾向	11
VI 長野市の住みやすさについて	74
VII スポーツや運動の実施について	75
VIII 社会参加について	76
IX SDGs について	80
X 生活の満足度について	81

第2章 男女別・年齢別人口割合による再集計結果（補正值）

I 補正值の算出方法	82
II 補正值による回答者属性	83
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	86
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	90
V 単純集計と補正值の差異	93
VI 施策別補正值によるクロス集計結果	95

第1章 基本集計結果

I 調査概要

1 調査期間

令和6年2月9日（金）～2月22日（木）

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女6,000人

3 標本の抽出

住民基本台帳（令和6年1月1日現在）から無作為抽出

4 調査方法

返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

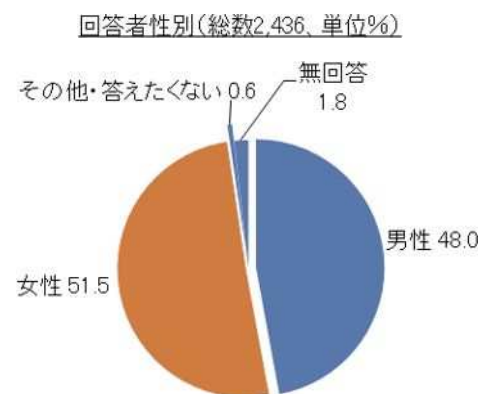
回収標本数 2,436 票

回収率 40.6%

II 属性に関する結果概要

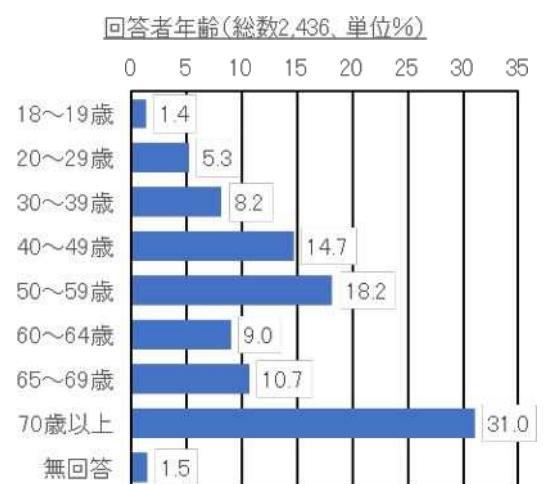
1 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	1,147	48.0
女性	1,231	51.5
その他・答えたくない	14	0.6
無回答	44	1.8
合計	2,436	100.0



2 年齢構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	33	1.4
20～29歳	130	5.3
30～39歳	200	8.2
40～49歳	357	14.7
50～59歳	444	18.2
60～64歳	220	9.0
65～69歳	260	10.7
70歳以上	756	31.0
無回答	36	1.5
合計	2,436	100.0



3 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	91	3.7
工業	65	2.7
商業・自由業	117	4.8
事務系会社員	190	7.8
サービス系会社員	179	7.3
技術系会社員	176	7.2
公務員・教員	144	5.9
主婦(主夫)	370	15.2
パート・アルバイト	368	15.1
学生	59	2.4
無職	445	18.3
その他	189	7.8
無回答	43	1.8
合計	2,436	100.0



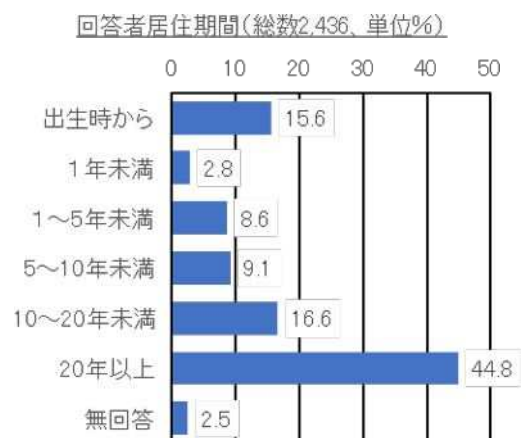
4 お住まい

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	871	35.8
市街地周辺地域	547	22.5
犀南地域	653	26.8
松代・若穂	210	8.6
中山間地域	80	3.3
無回答	75	3.1
合計	2,436	100.0



5 住んでいる期間

選択肢	回答数(人)	割合(%)
出生時から	379	15.6
1年未満	68	2.8
1～5年未満	209	8.6
5～10年未満	222	9.1
10～20年未満	404	16.6
20年以上	1,092	44.8
無回答	62	2.5
合計	2,436	100.0



6 家族構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
ひとり暮らし(単身)	251	10.3
夫婦のみ	707	29.0
親子(二世代)	1,096	45.0
親と子と孫(三世代)	253	10.4
その他	84	3.4
無回答	45	1.8
合計	2,436	100.0



7 お子さんの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	1,769	72.6
いない	620	25.5
無回答	47	1.9
合計	2,436	100.0

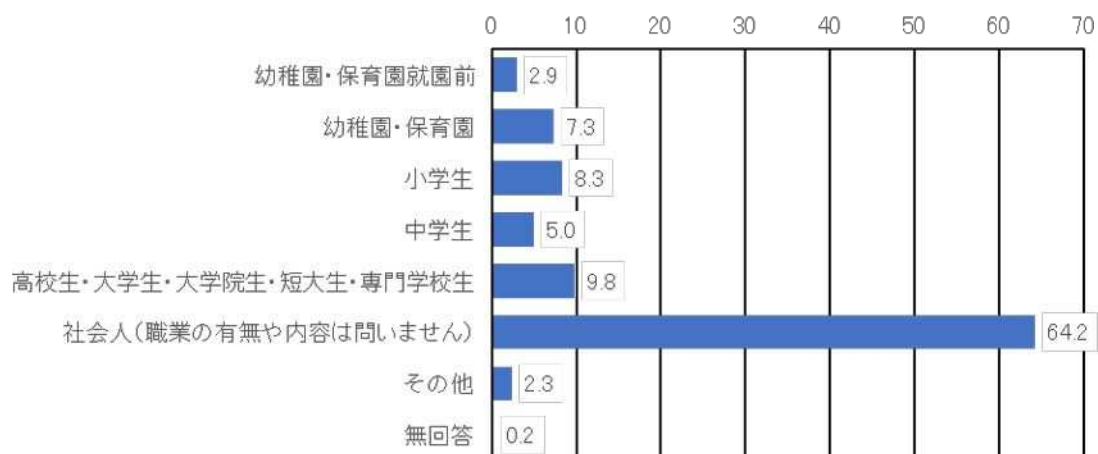
お子さんの有無(総数2,436、単位%)



8 お子さんの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	54	2.9
幼稚園・保育園	134	7.3
小学生	152	8.3
中学生	91	5.0
高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生	179	9.8
社会人(職業の有無や内容は問いません)	1,178	64.2
その他	42	2.3
無回答	4	0.2
合計(%ベース)	1,834	100.0

お子さんの状況(総数1,834、単位%)



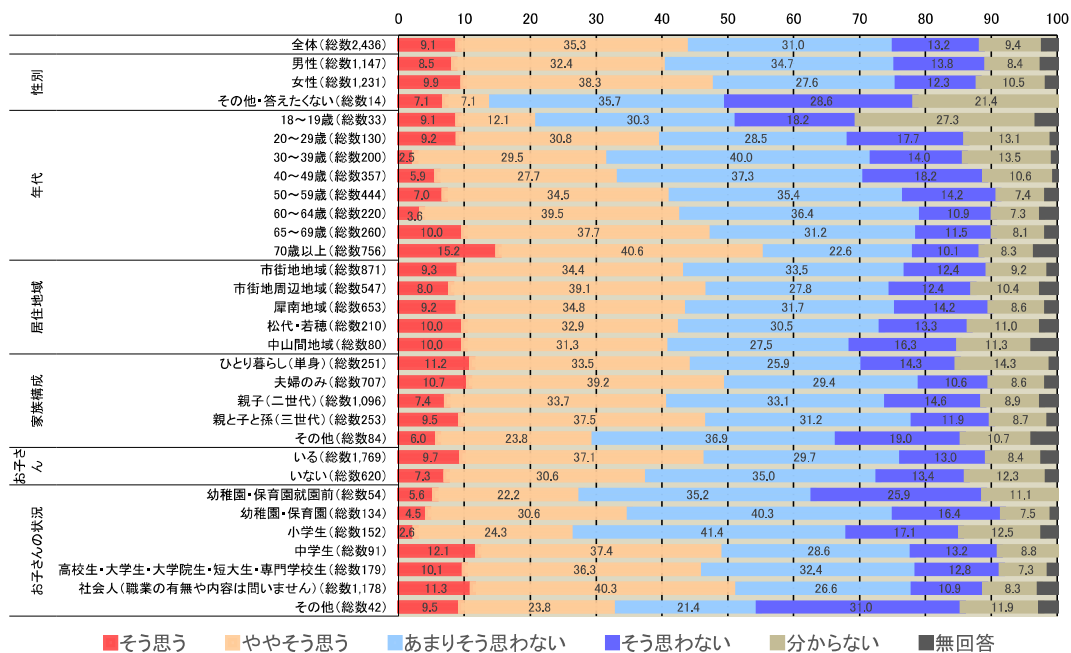
〔施策3-1-2 循環型社会の実現〕

市の地域づくりや体制に関する質問：44.4%	47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
回答者自身の実践状況に関する質問：86.1%	30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
：75.5%	31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
：94.0%	32 ごみの分別を徹底している

〇環境・体制の評価では、肯定的評価は「70歳以上」が約56%で最も高く、次いで「社会人」「夫婦のみ」などとなっている。

●市の地域づくりや体制に関する質問の属性別結果

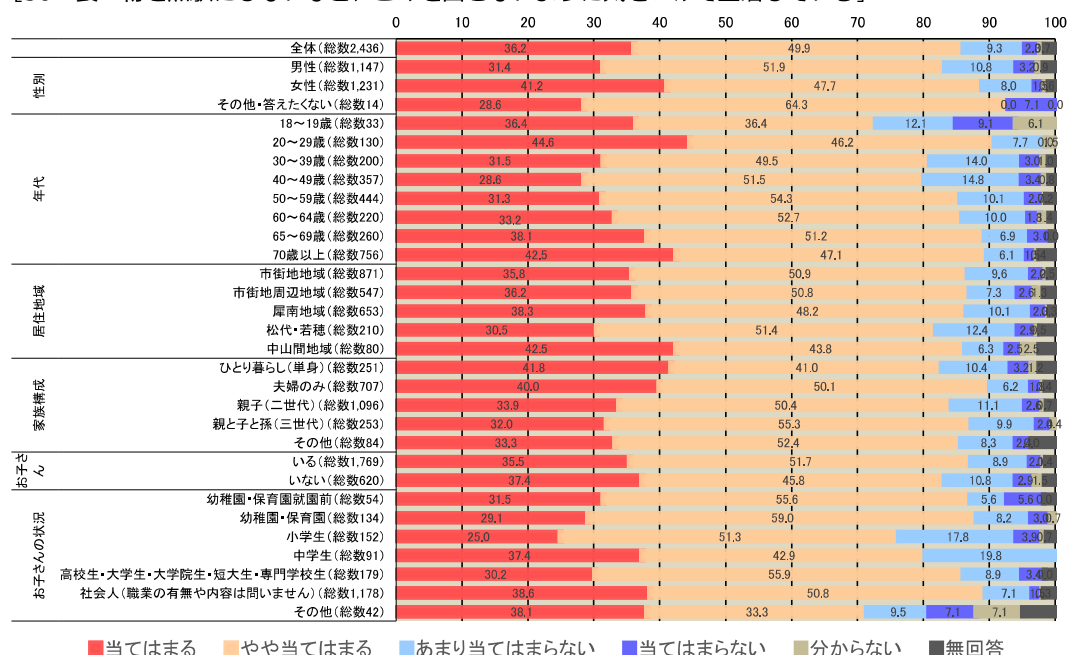
〔47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている〕



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「20～29 歳」が約 91%で最も高く、次いで「夫婦のみ」「70 歳以上」などとなっている。全体的に肯定的評価は高く、ほとんどの属性で 80%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

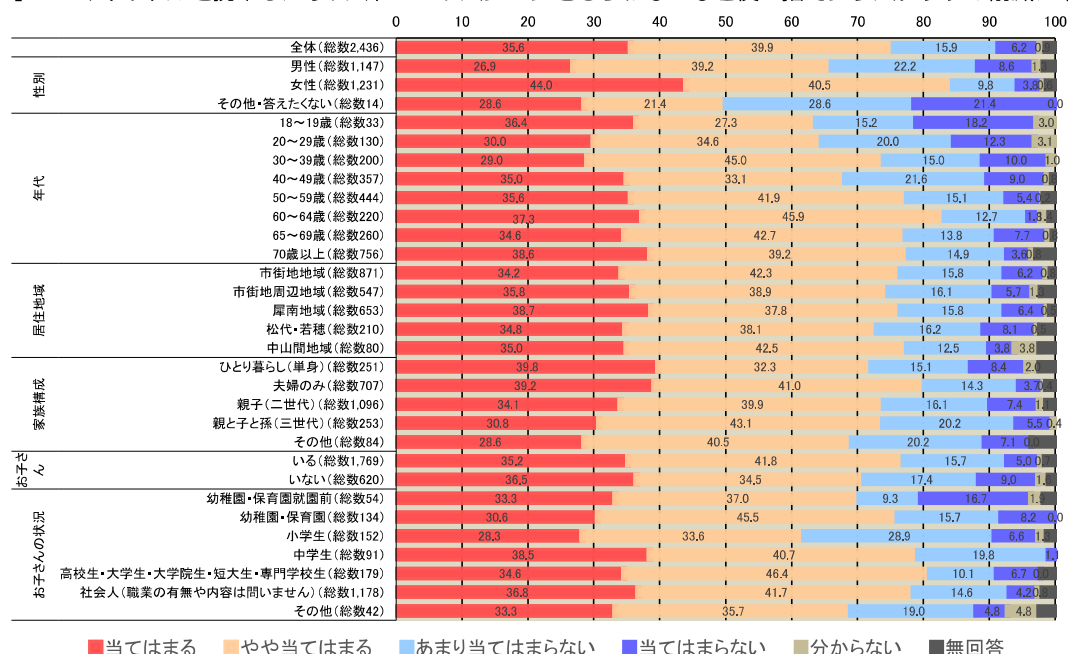
[30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「女性」が約 85%で最も高く、次いで「60～64 歳」「高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生」などとなっている。性別で大きな差が見られる。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

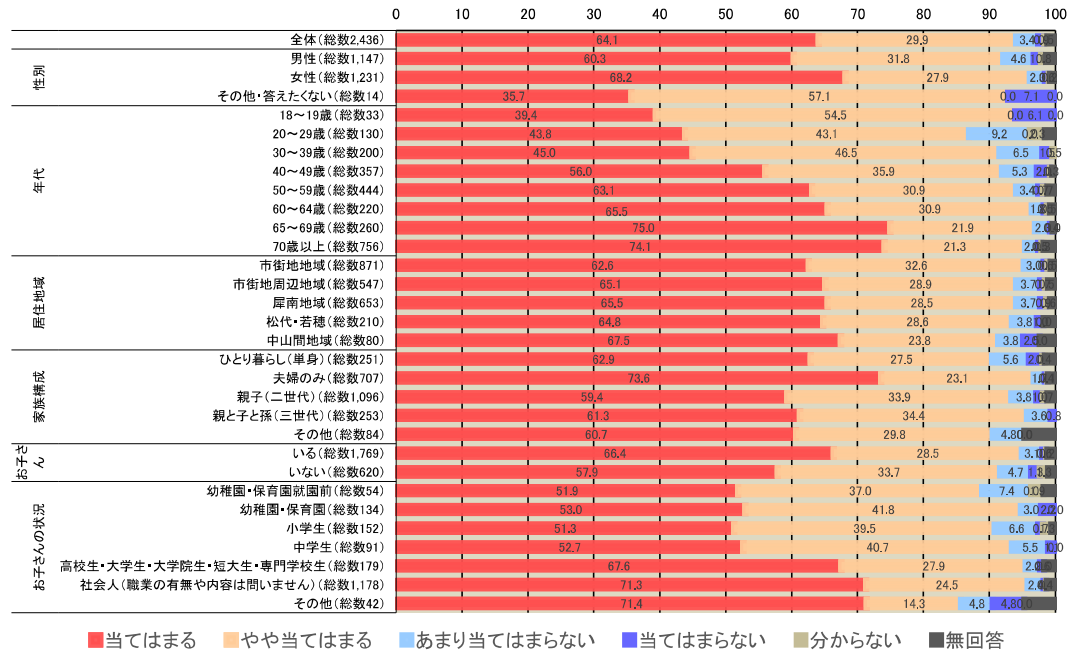
[31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「65～69 歳」が約 97%で最も高く、次いで「夫婦のみ」「女性」などとなっている。全体として肯定的評価はほとんどの属性で 90%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

[32 ごみの分別を徹底している]



■当てはまる ■やや当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■分からない ■無回答

第五次総合計画推進のための
市民アンケート調査結果
報 告 書

令和7年3月

目 次

第1章 基本集計結果

I 調査概要	1
II 属性に関する結果概要	1
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	4
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	8
V 施策ごとのアンケート指標現状値の主な傾向	11
VI 長野市の住みやすさについて	74
VII スポーツや運動の実施について	75
VIII 社会参加について	76
IX SDGs について	80
X 生活の満足度について	81

第2章 男女別・年齢別人口割合による再集計結果（補正值）

I 補正值の算出方法	82
II 補正值による回答者属性	83
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	86
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	90
V 単純集計と補正值の差異	93
VI 施策別補正值によるクロス集計結果	95

第1章 基本集計結果

I 調査概要

1 調査期間

令和7年1月7日（火）～1月27日（月）

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女6,000人

3 標本の抽出

住民基本台帳（令和7年1月1日現在）から無作為抽出

4 調査方法

返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

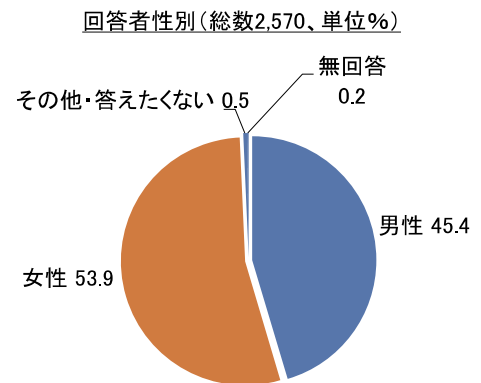
回収標本数 2,570 票

回収率 42.8%

II 属性に関する結果概要

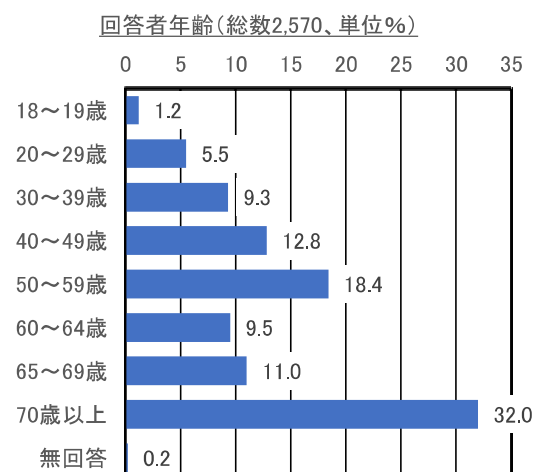
1 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	1,166	45.4
女性	1,385	53.9
その他・答えたくない	14	0.5
無回答	5	0.2
合計	2,570	100.0



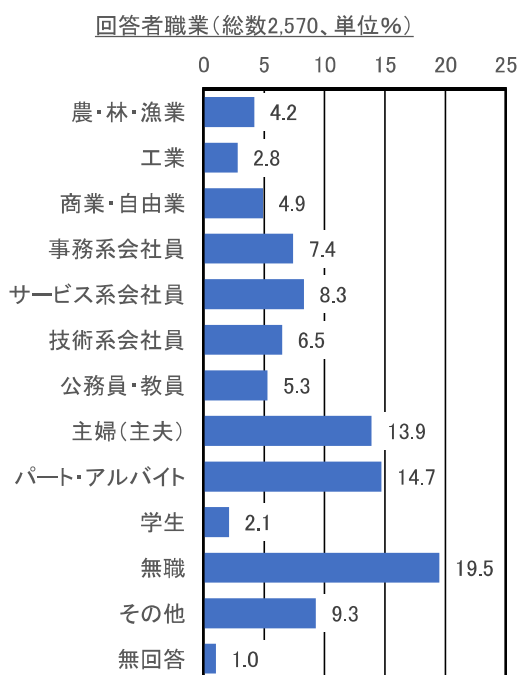
2 年齢構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	31	1.2
20～29歳	141	5.5
30～39歳	240	9.3
40～49歳	330	12.8
50～59歳	472	18.4
60～64歳	245	9.5
65～69歳	283	11.0
70歳以上	822	32.0
無回答	6	0.2
合計	2,570	100.0



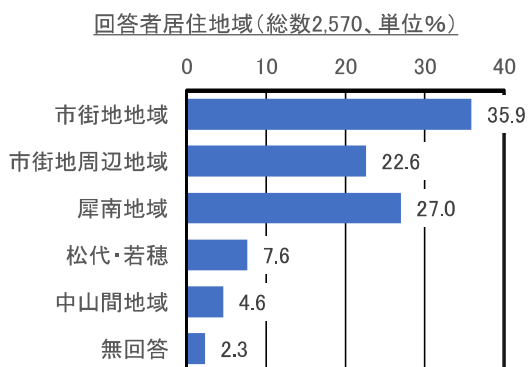
3 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	108	4.2
工業	72	2.8
商業・自由業	126	4.9
事務系会社員	189	7.4
サービス系会社員	214	8.3
技術系会社員	168	6.5
公務員・教員	137	5.3
主婦(主夫)	356	13.9
パート・アルバイト	379	14.7
学生	54	2.1
無職	501	19.5
その他	240	9.3
無回答	26	1.0
合計	2,570	100.0



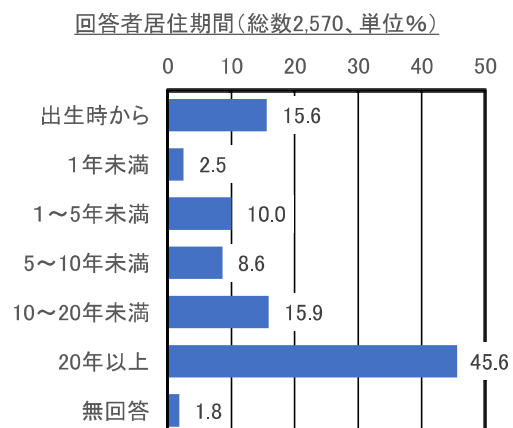
4 お住まい

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	923	35.9
市街地周辺地域	581	22.6
犀南地域	693	27.0
松代・若穂	196	7.6
中山間地域	117	4.6
無回答	60	2.3
合計	2,570	100.0



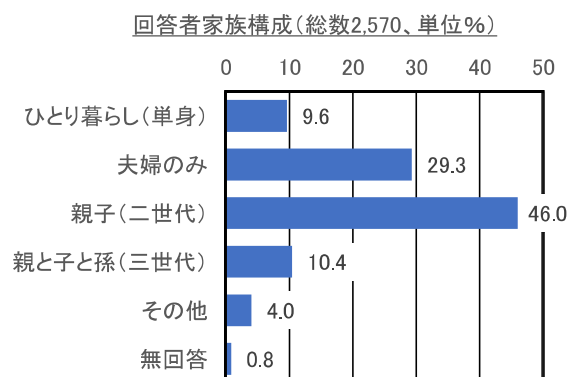
5 住んでいる期間

選択肢	回答数(人)	割合(%)
出生時から	400	15.6
1年未満	64	2.5
1～5年未満	257	10.0
5～10年未満	222	8.6
10～20年未満	409	15.9
20年以上	1,173	45.6
無回答	45	1.8
合計	2,570	100.0



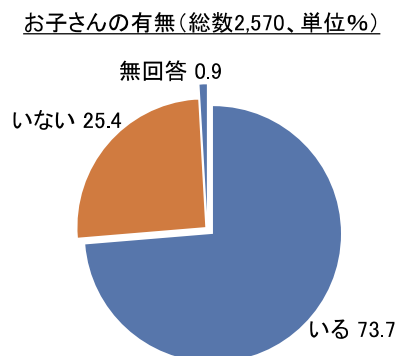
6 家族構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
ひとり暮らし(単身)	247	9.6
夫婦のみ	753	29.3
親子(二世帯)	1,181	46.0
親と子と孫(三世帯)	266	10.4
その他	103	4.0
無回答	20	0.8
合計	2,570	100.0



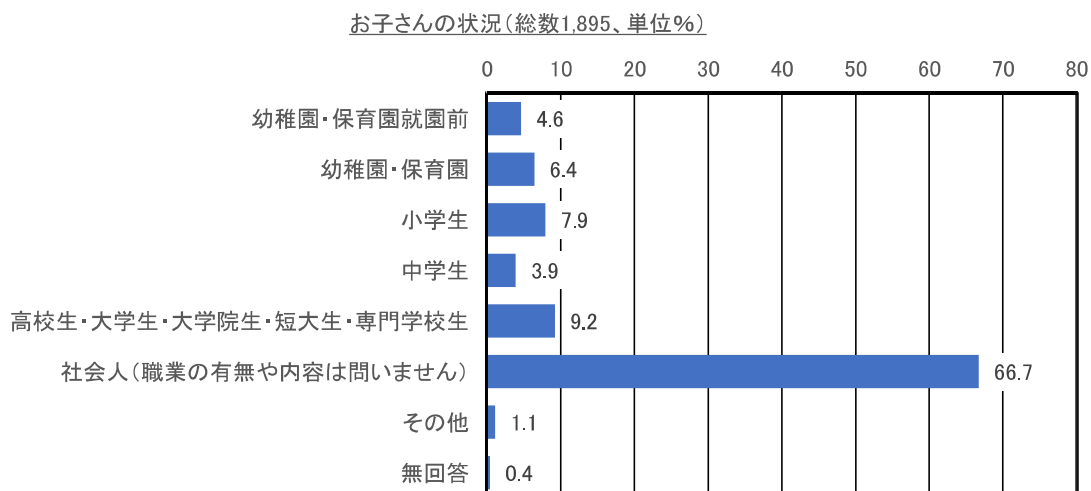
7 お子さんの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	1,895	73.7
いない	653	25.4
無回答	22	0.9
合計	2,570	100.0



8 お子さんの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	87	4.6
幼稚園・保育園	121	6.4
小学生	149	7.9
中学生	73	3.9
高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生	174	9.2
社会人(職業の有無や内容は問いません)	1,264	66.7
その他	20	1.1
無回答	7	0.4
合計(%ベース)	1,895	100.0



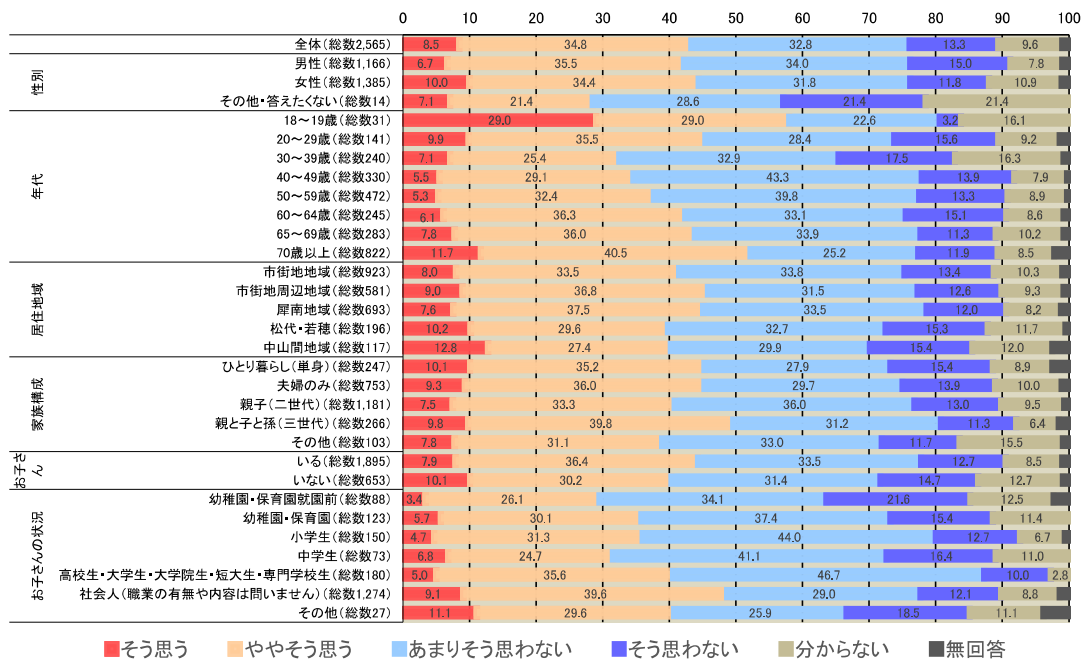
〔施策3-1-2 循環型社会の実現〕

市の地域づくりや体制に関する質問：43.3%	47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
回答者自身の実践状況に関する質問：86.7%	30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
：76.9%	31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
：95.8%	32 ごみの分別を徹底している

○環境・体制の評価では、肯定的評価は「18～19歳」が約58%で最も高く、次いで「70歳以上」「親と子と孫（三世代）」などとなっている。

●市の地域づくりや体制に関する質問の属性別結果

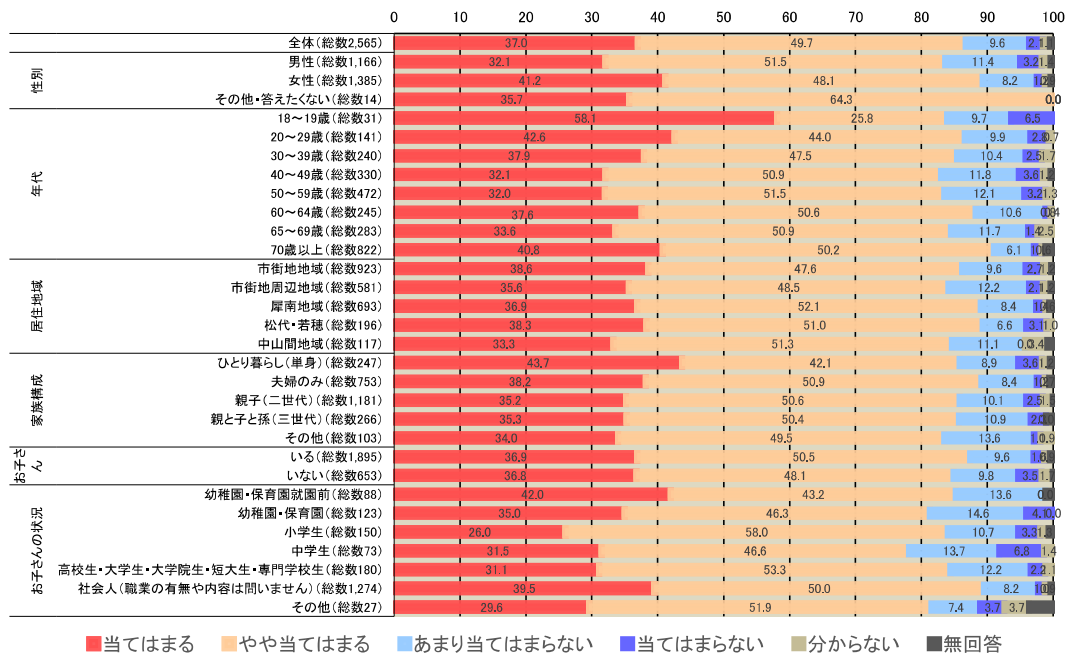
〔47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている〕



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「70 歳以上」が約 91%で最も高く、次いで「社会人（職業の有無や内容は問いません）」「女性」などとなっている。全体的に肯定的評価は高く、ほとんどの属性で 80%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

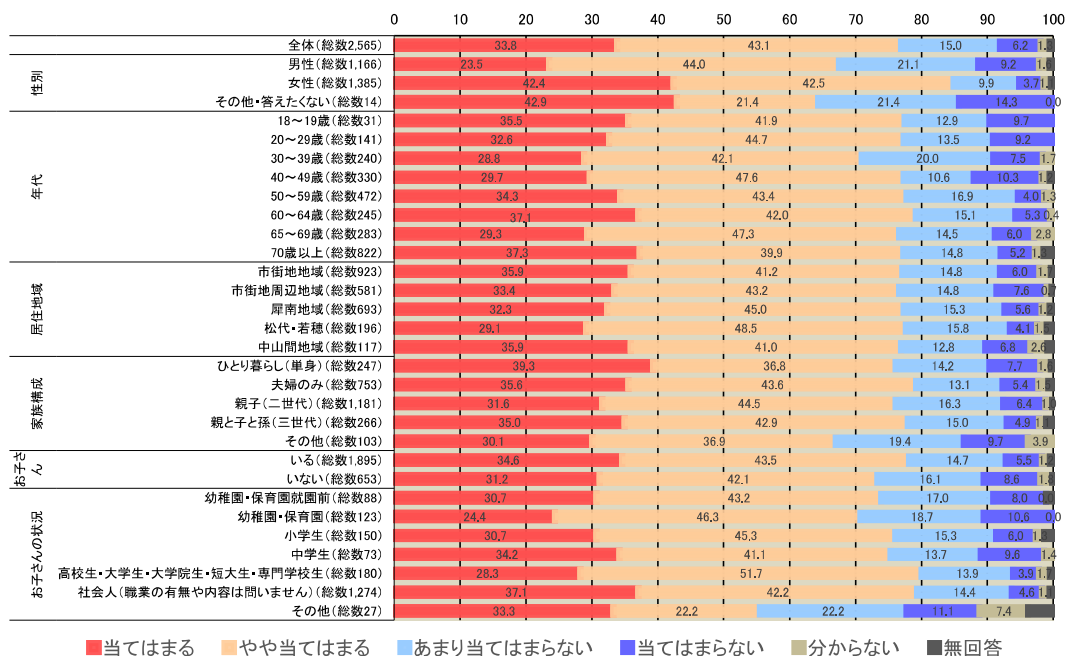
[30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「女性」が約 85%で最も高く、次いで「高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生」「社会人（職業の有無や内容は問いません）」などとなっている。性別で大きな差が見られる。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

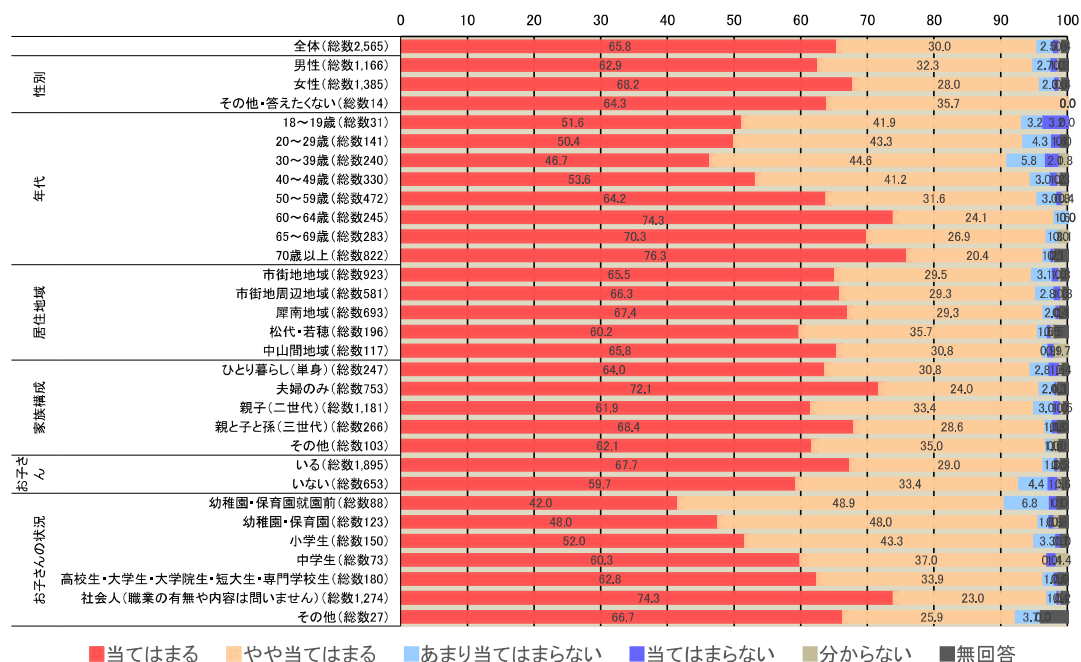
[31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「60～64 歳」が約 98%で最も高く、次いで「中学生」「社会人（職業の有無や内容は問いません）」などとなっている。全体として肯定的評価はすべての属性で 90%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

[32 ごみの分別を徹底している]



第五次総合計画推進のための
市民アンケート調査結果
報 告 書

令和8年3月

目 次

第1章 基本集計結果

I 調査概要	1
II 属性に関する結果概要	1
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	4
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	8
V 施策ごとのアンケート指標現状値の主な傾向	11
VI 長野市の住みやすさについて	74
VII スポーツや運動の実施について	75
VIII 社会参加について	76
IX SDGs について	80
X 生活の満足度について	81

第2章 男女別・年齢別人口割合による再集計結果（補正值）

I 補正值の算出方法	82
II 補正值による回答者属性	83
III 市の地域づくりや環境づくりに関する評価一覧	86
IV 回答者自身の実践状況結果一覧	90
V 単純集計と補正值の差異	93
VI 施策別補正值によるクロス集計結果	95

第1章 基本集計結果

I 調査概要

1 調査期間

令和8年1月7日（水）～1月26日（月）

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女6,000人

3 標本の抽出

住民基本台帳（令和7年12月1日現在）から無作為抽出

4 調査方法

郵便法（郵送により配布し、郵送により回収または長野市LINEアカウントによる回答）

5 回収結果

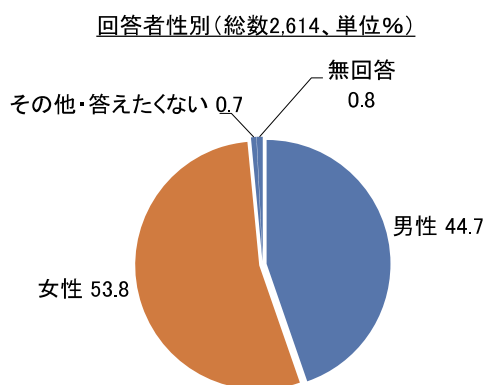
回収標本数 2,614票

回収率 43.6%

II 属性に関する結果概要

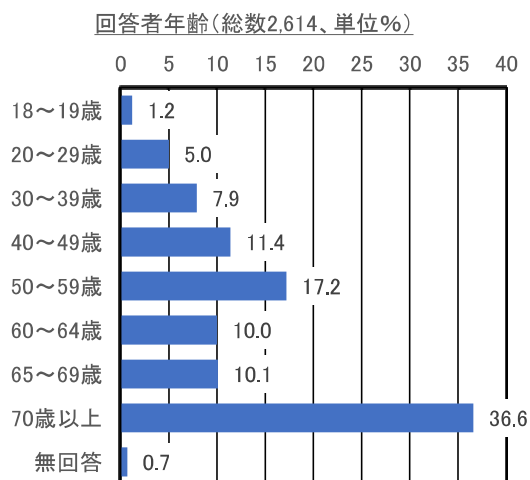
1 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	1,168	44.7
女性	1,407	53.8
その他・答えたくない	19	0.7
無回答	20	0.8
合計	2,614	100.0



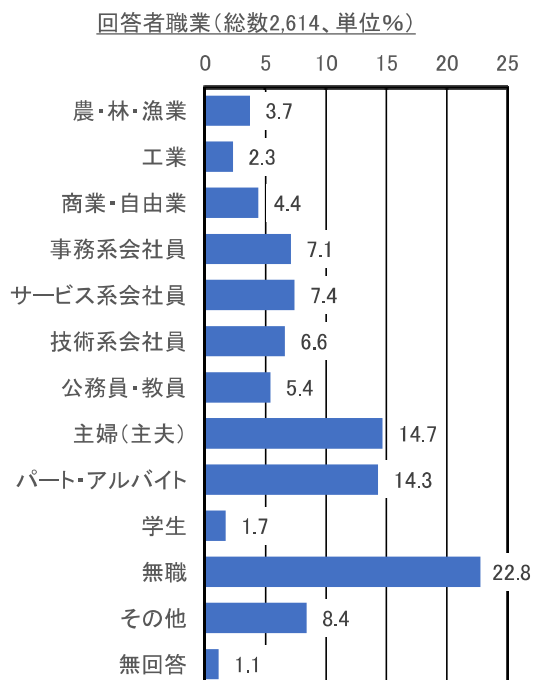
2 年齢構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	31	1.2
20～29歳	130	5.0
30～39歳	207	7.9
40～49歳	297	11.4
50～59歳	450	17.2
60～64歳	261	10.0
65～69歳	263	10.1
70歳以上	958	36.6
無回答	17	0.7
合計	2,614	100.0



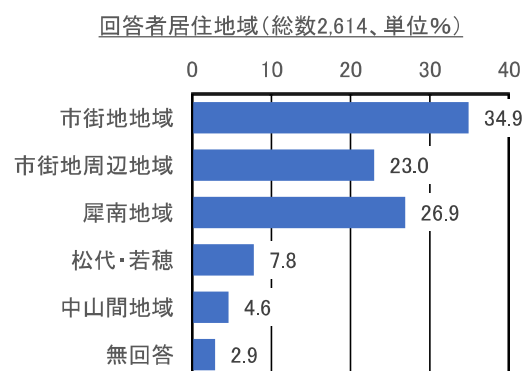
3 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	96	3.7
工業	61	2.3
商業・自由業	114	4.4
事務系会社員	186	7.1
サービス系会社員	193	7.4
技術系会社員	173	6.6
公務員・教員	142	5.4
主婦(主夫)	385	14.7
パート・アルバイト	374	14.3
学生	45	1.7
無職	597	22.8
その他	219	8.4
無回答	29	1.1
合計	2,614	100.0



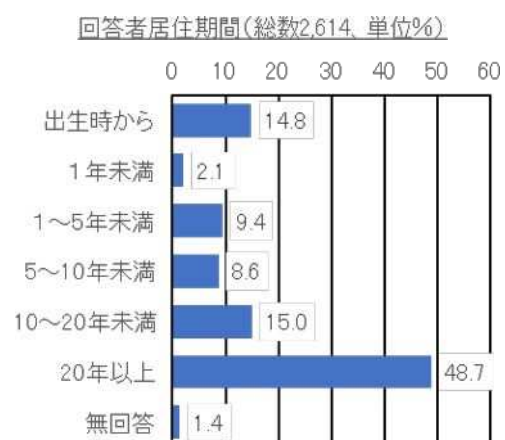
4 お住まい

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	911	34.9
市街地周辺地域	602	23.0
犀南地域	702	26.9
松代・若穂	204	7.8
中山間地域	120	4.6
無回答	75	2.9
合計	2,614	100.0



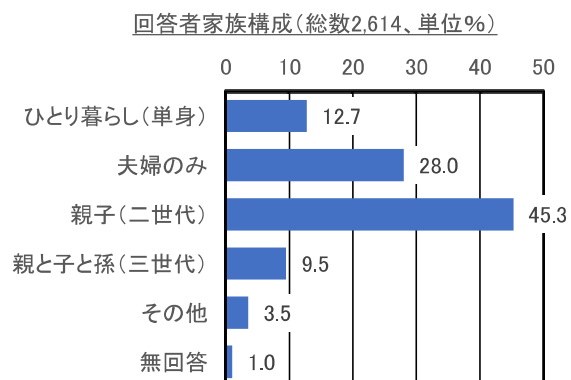
5 住んでいる期間

選択肢	回答数(人)	割合(%)
出生時から	386	14.8
1年未満	56	2.1
1～5年未満	247	9.4
5～10年未満	225	8.6
10～20年未満	391	15.0
20年以上	1,272	48.7
無回答	37	1.4
合計	2,614	100.0



6 家族構成

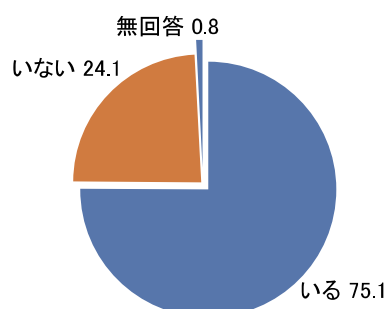
選択肢	回答数(人)	割合(%)
ひとり暮らし(単身)	332	12.7
夫婦のみ	732	28.0
親子(二世代)	1,184	45.3
親と子と孫(三世代)	248	9.5
その他	91	3.5
無回答	27	1.0
合計	2,614	100.0



7 お子さんの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	1,962	75.1
いない	631	24.1
無回答	21	0.8
合計	2,614	100.0

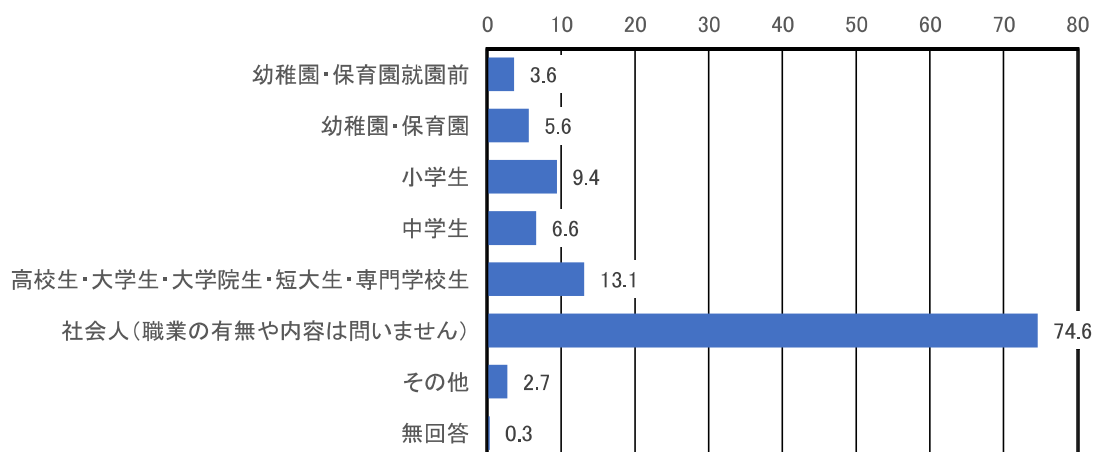
お子さんの有無(総数2,614、単位%)



8 お子さんの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	71	3.6
幼稚園・保育園	110	5.6
小学生	184	9.4
中学生	130	6.6
高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生	258	13.1
社会人(職業の有無や内容は問いません)	1,464	74.6
その他	53	2.7
無回答	5	0.3
合計(%ベース)	1,962	100.0

お子さんの状況(総数1,962、単位%)



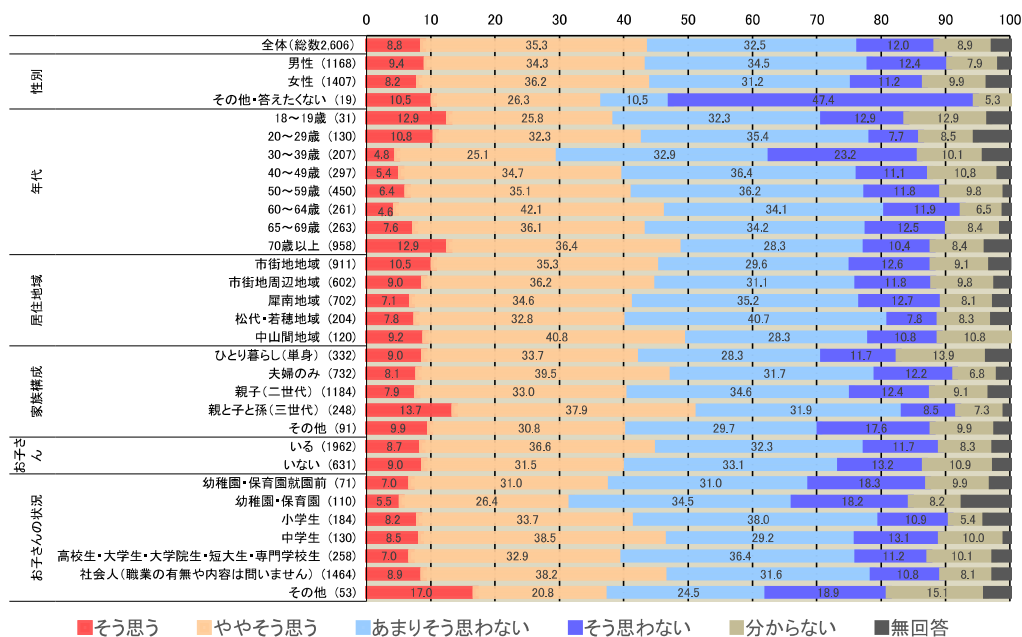
[施策3-1-2 循環型社会の実現]

市の地域づくりや体制に関する質問：44.1%	47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
回答者自身の実践状況に関する質問：85.7%	30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
：72.5%	31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
：93.3%	32 ごみの分別を徹底している

〇環境・体制の評価では、肯定的評価は「親と子と孫（三世代）」が約52%で最も高く、次いで「中山間地域」「70歳以上」などとなっている。

●市の地域づくりや体制に関する質問の属性別結果

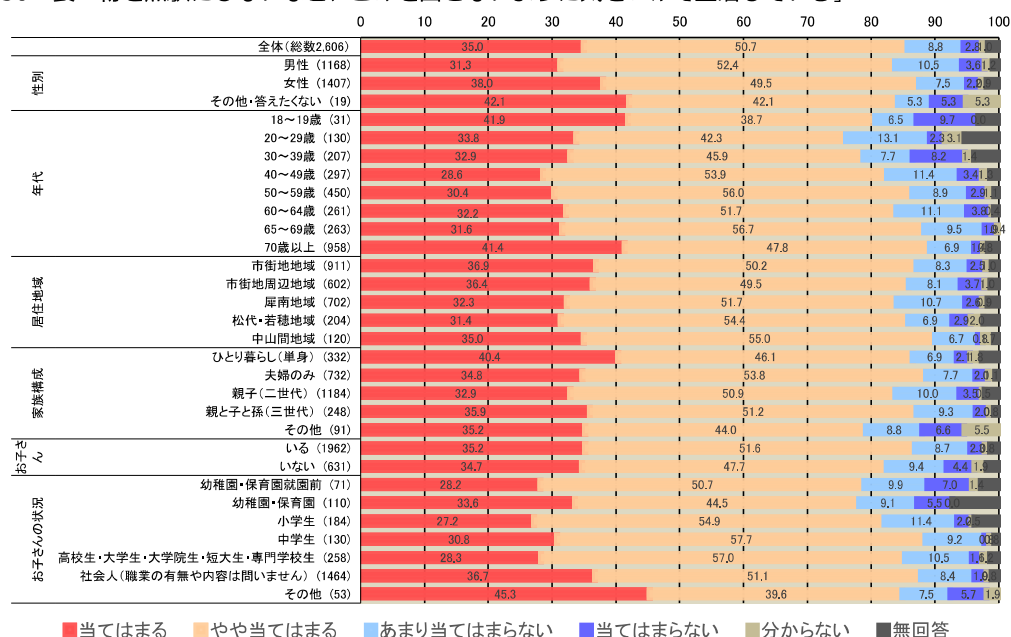
[47 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「中山間地域」が約 90%で最も高く、次いで「70 歳以上」「夫婦のみ」などとなっている。全体的に肯定的評価は高く、多くの属性で 80%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

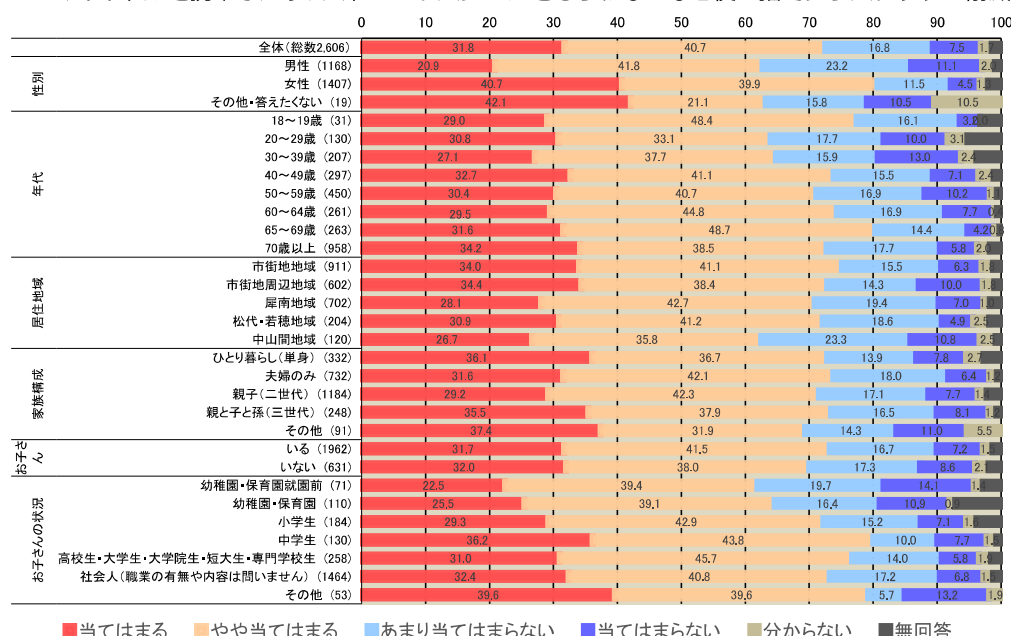
[30 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「女性」が約 81%で最も高く、次いで「65～69 歳」「中学生」などとなっている。性別で大きな差が見られる。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

[31 マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる]



○回答者の実践状況では、肯定的評価は「65～69 歳」が約 98%で最も高く、次いで「夫婦のみ」「社会人（職業の有無や内容は問いません）」などとなっている。全体的に肯定的評価は高く、多くの属性で 90%を超えている。

●回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

[32 ごみの分別を徹底している]

